

平成21年2月26日

各 位

上場会社名 タツタ電線株式会社
 代表者 代表取締役社長 藤江 修也
 (コード番号 5809)
 問合せ先責任者 取締役 総務部経理・財務担当部長 松本 一郎
 (TEL 06-6721-3011)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年12月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	750	800	500	7.44
今回発表予想(B)	44,000	100	150	150	2.23
増減額(B-A)	△1,000	△650	△650	△350	――
増減率(%)	△2.2	△86.7	△81.3	△70.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	50,887	2,396	2,492	2,201	31.45

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,000	△550	△150	100	1.49
今回発表予想(B)	34,000	△1,200	△800	△250	△3.72
増減額(B-A)	△1,000	△650	△650	△350	――
増減率(%)	△2.9	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	43,028	531	831	1,250	17.85

修正の理由

世界的な景気後退に伴い、国内企業業績の悪化は製造業全般に及んできております。このため企業の設備投資抑制傾向は一層強まってきており電線需要は更に落ち込む見通しであります。また、FTTH化の遅れにより光ファイバー等通信ケーブルや光部品の需要も前回予想を下回る見込みであります。こうしたことに加え、銅価の急落に伴い、高値銅の販価への転嫁が進まなかったことにより営業利益、経常利益、当期利益は前回見通しを大幅に下回る見込みであります。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上